

# 西土佐中学校 第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和3年10月20日(木)

第6校時

生徒数 13名

指導者 中山 文

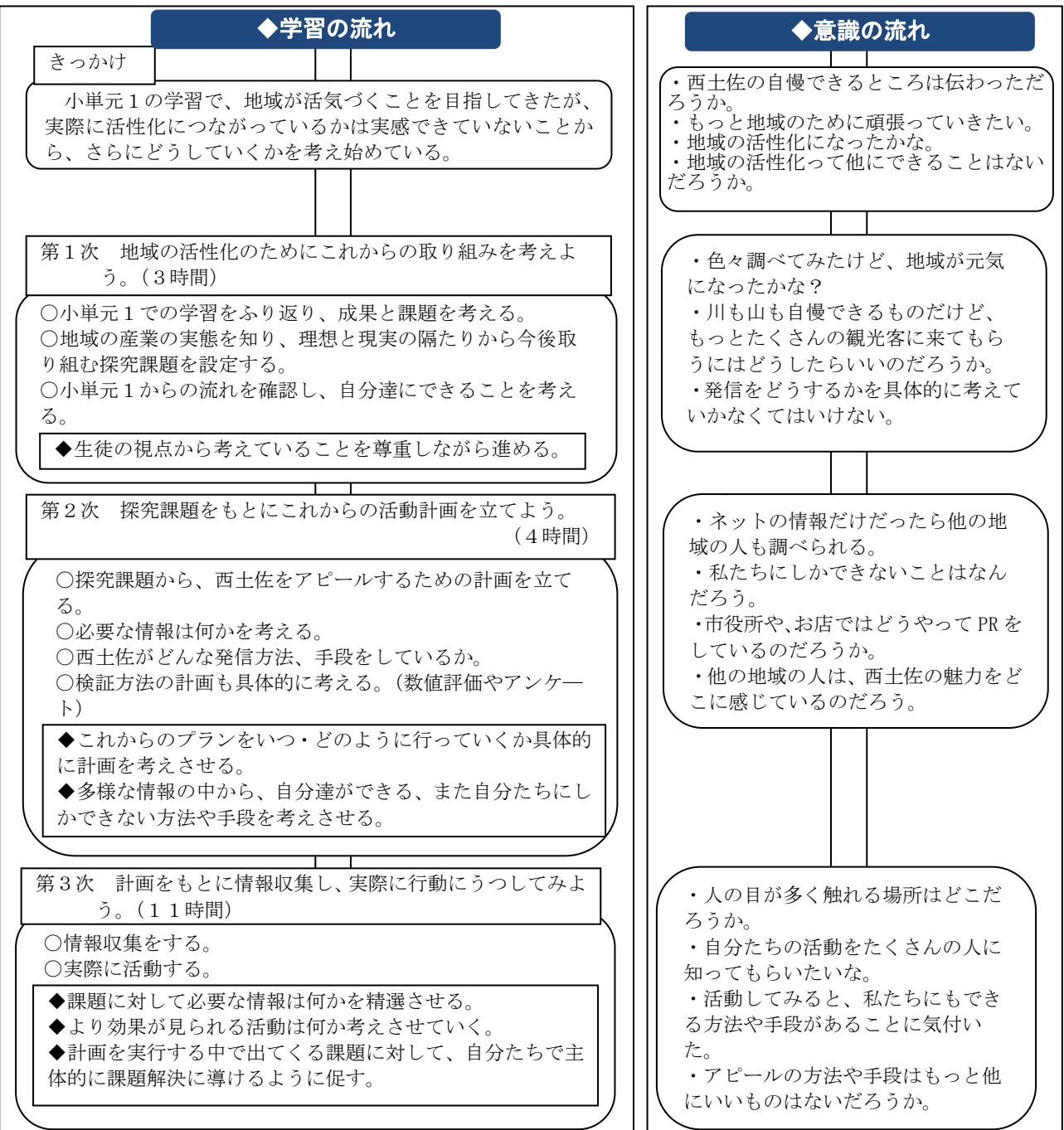
井上 翔太

下山 歩

## 1 単元構想図

単元名 「地域発見 ～地域を理解し、発信しよう～」 全50時間 小単元2 「西土佐をアピールしよう」(23時間)
---

小単元1 地域を巡り、地域の宝を再発見しよう(27時間) テーマ「西土佐自慢の川と山」	→	小単元2 西土佐をアピールしよう(23時間)
---	---	---------------------------



第4次 活動を振り返り来年度につなげよう。(4時間)

- 活動からわかったことを整理・分析していく。
- 活動の効果を考察する。
- 活動を振り返り、自己の変容や学習内容をまとめる。

- ◆活動したことを検証方法の計画に沿って分析できているか考えさせる。
- ◆数値化やグラフ化して資料としてわかりやすいまとめになるように工夫させる。
- ◆今年度の振り返りをさせる。
- ◆来年度への活動にも目を向けさせる。

- ・実際活動してみることで、さらにできることや、やってみたいことも出てきた。
- ・中学生でも、地域の活性化につながる活動はできるんだ。
- ・最初はどうなるかと思ったけど、みんなでやることで色々な活動ができた。楽しみながらできた。
- ・来年度の修学旅行でも何かできるのではないだろうか？

単元でつきたい力

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。【知識】
- ・情報を比較・分類・関連付ける、多面的に見るなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・自他の考えを交流しながら、協働して探究活動に取り組もうとする【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

自分達の住んでいる西土佐地域について、小学校の時も何度か学習してきた。小学校では地理的なことや、自然、食について学習してきた。中学校に入学し、今一度自分たちの住んでいる地域に目を向け、今ある西土佐の自然や産業、歴史などに目を向け再発見することで、子どもたち自身で今できることを考え発信していくことをねらいとしている。

西土佐地域について、今後子どもたちがどういうふうになってほしいかなど思いを形にする上でも、地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見つけてほしいと考える。

○生徒観

本学級の生徒は、幼さが残る生徒もいるが、明るく元気な生徒たちである。活動を好んで行う生徒が多く、総合的な学習の時間は意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、集中力が継続しない生徒もいて、好きな活動はやれるが興味関心がないことへの取り組みが消極的な生徒もいる。

総合的な学習の時間授業評価アンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい。」「総合的な学習の時間で取り組んでいる課題を、自分のこととして考えている。」「総合的な学習の時間では、自分の考えが他の人に伝わるように、理由や根拠をつけて説明している。」61.5%、「総合的な学習の時間では、自分から積極的に話しかけたり、発言したりしている。」69.2%など、主体的に取り組んでいるとは言えない。ただ、「自分の住んでいる地域が好きで、大事にしたいと思っている」84.6%、と地域に対する思いは高い数値となっており、地域への愛着はあるものと思われる。しかし、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある」53.8%と、地域貢献への意識はあまりもっていないとは言えない。

○指導観

小単元1では、西土佐地域に目を向け、自分達で地域の課題に向き合い、その解決に向けての取り組みを通して、地域の方々や関係者の方々の努力や思い、つながりを知ることで、地域の現状を知り、自分にできることは何かを積極的に考えることができる態度、そしてそこから自分の将来の理想を思い描きそこに向けて努力していこうとする態度を育成したいと取り組んだ。

また、堂が森登山の経験を通して地域の良さを考え、さらに探究課題を設定することで山と川にしぼり2グループでインターネット等を活用し調べ学習を行った。1学期の中間発表では新たに導入されたタブレットを各自が用いてスライドを作成し、グループごとに役割分担も行き、発表をした。その発表から探究課題の深まりがまだ弱いという課題も見つかり、文化祭に向けての取り組みにもつながった。

本単元では、さらに地域を活性化させるために自分たちには何ができるかという観点で考えさせたい。また、地域への思いを形にしていくことに加え、実現可能なことを考え実践していこうとする態度を育てたい。第1次では西土佐を活性化させるために多様な意見を出しながらも、中学生として可能なことや効果はどうか、また限られた時間の中でどう取り組むかを考えさせていきたい。第2次では、同じく地域活性化に向けて取り組んでいるところのPRの仕方を参考にし、自分達の活動計画を考えさせたい。また、どのように検証するか、その検証方法の計画を具体的に考えさせたい。第3次では、今までの計画を実際に行動化させる中で、出てくる課題に対して、自分達で主体的に課題解決に導けるように促していきたい。第4次では、活動の振り返りだけにとどまらず、地域への貢献度など、思いに対する変化も振り返らせたい。振り返る際に、自分たちの計画した検証指標に照らして、その活動が効果的であったかを考える中で、今後の計画や活動の工夫につなげられるように指導していきたい。

この学習を通して、地域貢献への意識を高め、自分にできること、そして将来の自分の姿を思い描く力を育成し、2年次での学習へとつなげていきたい。

### 3 単元の目標

西土佐地域の良さを調べる中で、地域の課題について考えたり、また特産品について調べたり、事実をもとに考えたりする活動を通して、西土佐地域の人々の思いや願いに気づき、地域の一員として、地域の活性化のためにできることを積極的に考えようとするようにできるようにする。

### 4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
①西土佐地域の現状や課題について理解し、地域の課題やそれに対する取り組みなどについて理解している。	①自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出し、見通しを持って計画を立てている。	①探究的、協働的な活動を通して、進んで地域の現状を捉えようとしている。
②収集した情報を多面的・多角的に見て、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 ③西土佐地域の現状や課題についての理解は、地域の自然環境とそこに关わる多様な人や産業との関係を探的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	②西土佐地域の現状や取り組みを情報収集する際に、目的に応じて情報収集の手段を選択し、必要な情報を収集している。 ③西土佐地域の活性化に向け、「活性化に効果的か」「実現可能か」の視点で自分たちができることを考えている。 ④西土佐地域の現状の取り組みを知り、集めた情報を関連付けたり、事実を根拠として整理したりして、分析し、適切な方法で表現している。	②立場の違う人の意見や、他者の考えを理解し、課題解決に向けて協働しようとしている。 ③探究活動を通して、次の活動への展望を考えたり、地域の一員として自分にできることは何かを考えようとしている。

5 指導と評価の計画（全 23 時間 本時 3/23）

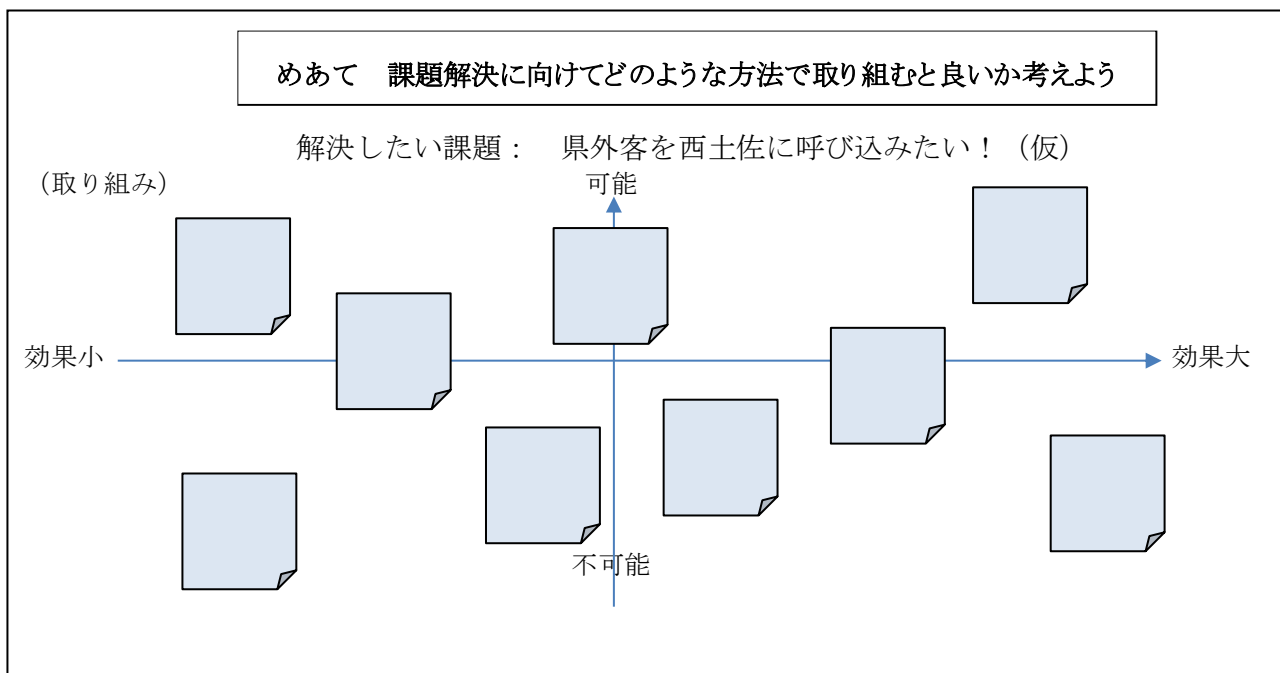
次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1 3	○これからの活動に向け、小単元1の活動を振り返り、探究課題を設定しよう。 ・小単元1での学習を振り返り、成果と課題を考える。 ・地域の産業の実態を知り、理想と現実の隔りから今後取り組む探究課題を設定する。	①		①	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り
		○課題解決に向けてどのような方法で取り組むと良いか考えよう。 ・課題解決に向けて、自分達にできることを考える。		③		
二	4 7	○探究課題をもとにこれからの活動計画を立てよう。 ・探究課題から、西土佐をアピールするための計画を立てる。 ・必要な情報は何かを考える。 ・西土佐がどんな発信方法、手段をしているか。		①	③	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り
三	8 18	○計画をもとに情報収集し、実際に行動にうつしてみよう。 ・情報収集をする。 ・実際に活動する。	②	②	②	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り
四	19 23	○活動を振り返り来年度につなげよう。 ・活動からわかったことを整理・分析していく。 ・活動の効果を考察する。 ・活動を振り返り、自己の変容や学習内容をまとめる。	③	④		タブレット ワークシート 行動観察 振り返り

## 6 本時の指導

本時の目標	西土佐地域の活性化に向けて、自分たちにできることを「効果的か」「実現可能か」という視点に沿って検討することができる。	
本時の評価規準	西土佐地域の活性化に向け、「活性化に効果的か」「実現可能か」の視点で自分たちができることを考えている。【思】	
準備物	タブレット (Jamboard)	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 前時に考えた探究課題について確認する (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を発信していくためにどんなことができるだろうか。</li> <li>・これからの学校行事の中でうまく使えそうな場面はないかな。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 めあて 西土佐地域の活性化に向けて、自分たちにできることを「効果的か」「実現可能か」という視点に沿って検討しよう。             </div>		
2. 課題解決に向けて効果のありそうな取り組みについて考える。 ①各班で自由に話しアイデアを持つ。(3分)  ②各自で効果的な方法を考え、付箋に記入する。(Jamboard, 5分)  ③各グループで、出たアイデアを座標軸(効果の大・小、可能・不可能)にしたがって整理する。(10分)  ④行事予定表と照らし合わせながら、いつ・どこで・何をするのか計画を立てる。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすれば課題解決ができるだろう。</li> <li>・こんなことができればいいな。</li> <li>・こんなことをやってみたいな。</li> <li>・このアイデアは効果がありそうだけど、今の自分たちには難しいかな。</li> <li>・これだったらすぐに取り組みそうだな。</li> <li>・いつできるだろう。</li> <li>・どこでやれば効果的かな。</li> <li>・ここまでに〇〇をしておかなくてはいけないな。</li> </ul>	西土佐地域の活性化に向け、「活性化に効果的か」「実現可能か」の視点で自分たちができることを考えている。 【発言、Jamboard、観察】
3. 各グループの立てた計画を共有 各班3分 (合計6分)		
4. 本時の振り返りをする。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからどんなことを頑張っていこう。</li> <li>・〇〇をするのが楽しみだな。</li> </ul>	

## 7 板書計画 (板書 Jamboard)

1 枚目



2 枚目

(計画)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> </ul>	 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> <li>• ~~~~~</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ~~~~~</li> </ul>

※1 枚目で出した意見をコピーし張り付ける。  
 ※補足や、TO DO を書き込む。

今日の振り返り

月    日